

設計課題「趣味（自転車）室のある専用住宅」（木造2階建）

1. 設計条件

ある地方都市の住宅地において、趣味（自転車）室のある専用住宅を計画する。
計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。

- ①趣味室は、親子三世代の趣味である自転車の整備や保管場所として利用するものとする。
- ②趣味室は採光に留意し、また、独立性を考慮して、上部に2階部分を設けてはならない。
- ③主に1階は親世帯が利用し、2階は子世帯が利用するものとする。
- ④主要な居室は、日当りに配慮すること。
- ⑤建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

必ず「190m²以上、220m²以下」とする。
(床面積については、ガレージ、自転車置場、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

- ア. 親夫婦（60歳代）
- イ. 子夫婦（40歳代）、子供（男子高校生、女子中学生）

(5) 要求室

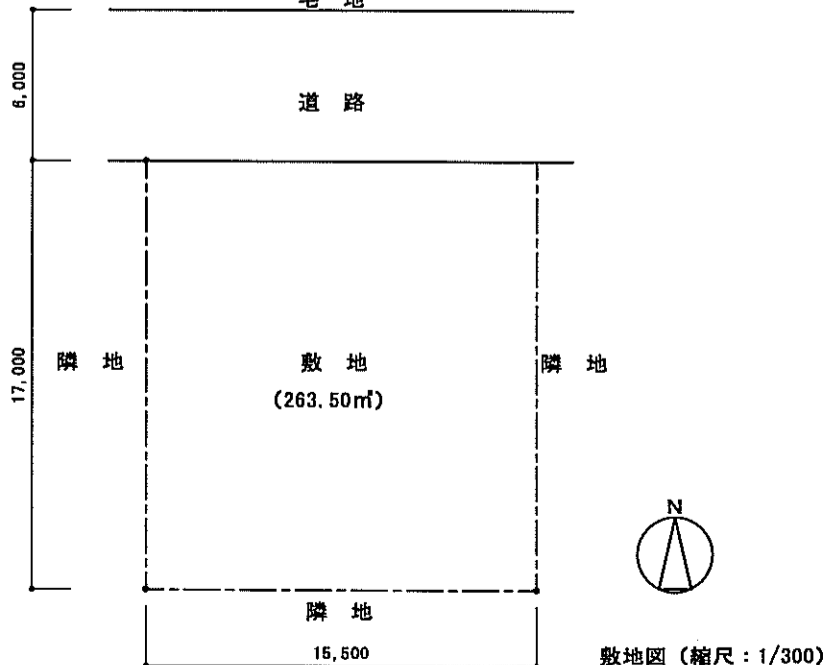
下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項
1階 親世帯部分	親夫婦室	ア. 洋室16m ² 以上とし、その他に収納を設ける。 イ. 便所に近接させて、日当りに配慮する。
	台所・食事室	ア. 洋室19m ² 以上とし、1室にまとめてもよい。 イ. 対面キッチンとし、日当りに配慮する。
	居間	・洋室13m ² 以上とし、台所・食事室と直接、行き来できるようにして日当りに配慮すること。
	趣味室	ア. 洋室19m ² 以上とし、流し台を設ける。 イ. 玄関の近くとし、上部に2階部分を設けてはならない。 ウ. その他に専用便所（3m ² 以上）と倉庫（3m ² 以上）を設ける。 エ. 自転車用の出入り口を設ける。
	玄関	・式台と手すりを設ける。
	浴室	・3m ² 以上とする。
	洗面脱衣室	・3m ² 以上とする。
	便所	・広さは、心々1,200mm×1,500mm以上とする。
2階 子世帯部分	居間食事室台所	ア. 洋室26m ² 以上とし、1室にまとめてもよい。 イ. 台所は居間・食事室から見えないようにすること。
	子夫婦室	・洋室16m ² 以上とし、その他に収納を設ける。
	子供室(1)	・洋室9m ² 以上とし、その他に収納を設ける。
	子供室(2)	・洋室9m ² 以上とし、その他に収納を設ける。
	浴室	・3m ² 以上とする。
	洗面脱衣室	・3m ² 以上とする。
	便所	・広さは適宜とする。
	納戸	・3m ² 以上とする。

(注) 1階の廊下の幅は、心々1,300mm以上とする。

(6) 屋外施設

- ア. 敷地内に、乗用車（5人乗り）2台分のガレージを設ける。
- イ. 屋外に通勤・通学用の屋外自転車置場を4台分設ける。
- ウ. 居間から直接、出入りできる屋外テラス12m²以上（南側奥行き4m以上）を設ける。



2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する（寸法線は枠外にはみ出して記入してもよい）。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする（定規を用いなくてもよい）。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛りは4.55mm（矩計図にあっては、10mm）である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 道路から玄関へのアプローチ、門、塀、植栽、花壇、ガレージ、自転車置場、屋外テラスなどを記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 台所設備機器（流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等）、浴槽、洗面台、洋式便器を記入する。 オ. 趣味室に自転車用スタンド（W750×L1500mm）以上3台分を記入する。 カ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 (注) 「耐力壁」とは筋カイ等を設けた構造上有効な壁をいう。 (以下同じ) キ. 矩計図の切断位置を記入する。
2階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 台所設備機器（流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等）、浴槽、洗面台、洋式便器を記入する。 エ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 オ. 1階の屋根伏図も記入する。 カ. 矩計図の切断位置を記入する。
2階床伏図 1階小屋床伏図 (1/100)	ア. 主要部材（通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床ばり、桁、小屋ばり、火打ばり、棟木・小屋束、母屋・小屋束）については、凡例の表示記号に従って記入し、断面寸法（小屋束を除く）を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及びたる木については、記入しなくてよい。 イ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ. 建築物の主要な寸法を記入する。
立面図 (1/100)	・北側立面図とする。
矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1階・2階それぞれの外壁の開口部を含む部分とする イ. 作図の範囲は柱芯から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等（床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配）を記入する。 オ. 主要部材（基礎、土台、大引き、1階根太、胴差し、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき）の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口（又は、これに代わるもの）の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱・防湿措置を記入する。 ・屋根（小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井） ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部位（屋根、外壁、床、内壁、天井）の仕上材料名を記入する。
面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 数値は小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

※通信添削課題は、必ず、解答用紙（本気2級専用製図用紙）に記入して、4ツ折（A4サイズ）にして、角型2号封筒（A4サイズ）で下記住所までご郵送ください。

〒657-0024
神戸市灘区楠丘町2-5-20
本気2級事務局 有限会社 エーエーワークス

凡例	通し柱	1階の管柱	2階の管柱	1階と2階が異なる管柱	胴差・2階床ばり・けた・小屋ばり	火打ばり	棟木・小屋束	もや・小屋束
表示記号	○	●	■	▲	—	—	—	—
断面寸法の記入欄 (mm)					図中に記入	図中に記入	棟木	もや